



令和3年10月20日（水）発行

学校だより No.9

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》
○ 向学 ……自ら学ぶ生徒
○ 礼節 ……思いやりのある生徒
○ 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を育てる教育活動の推進～」

第1回学校評価アンケート、ご協力ありがとうございました

第1回学校評価アンケートの結果を基にした自己評価がまとまりましたのでお知らせいたします。この結果を踏まえ、沼田西中をより良い学校にしていいため職員一丸となって改善策に取り組んでまいりますので、今後も本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

A:「はい」「どちらかといえばはい」が80%以上、Bは60%以上、Cは60%未満（㊤は90%以上、㊤は85%以上がAとなっています。）

具体的数値項目と改善策 (今回の自己評価がBの具体的数値項目については【改善策】が太字になっています)		1学期 自己評価
①「学校が重点的に取り組んでいることや子供の学校での様子が分かる」と保護者の80%以上が答えている。		A
【改善策】 ○学校、学年便りの発信やホームページの充実を図るとともに、家庭への連絡(Home&School)でも学校の様子が伝わるように心がける。		
②学校行事やPTA諸活動に保護者の80%以上が年2回以上参加している。		A
【改善策】 ○参加者にHome&School等で意見を集約し、次回の改善に繋げる。 ○通知や学年便りなどのお便りで周知する。また、Home&Schoolで、再度的確に連絡する。 ○来校した保護者にも消毒や手洗いを励行したり教室の換気を行ったり、授業参観の公開授業時間を長く設けて三密状態をつくらないようにすることで、感染症対策を徹底し、安心して学校行事に参加できるように配慮する。		
③「授業が分かる」と生徒の80%以上が答えている。		A
【改善策】 ○参観ウィークを設け授業をお互いに参観し合うことで授業改善に努める。 ○放課後学習で基礎・基本の定着を図り、授業で活用できるようにする。		
④生徒の80%以上が授業に満足感をもっている。		A
【改善策】 ○「西中授業のスタンダード」に基づいた授業の中で、個に応じたスモールステップを意識した授業づくりや互いに教え合う場面を設定し自己有用感を高める支援を行う。		
⑤生徒の80%以上が毎日家庭学習を行っている。		A
【改善策】 ○「学習プリントコーナー（家庭学習応援プロジェクト）」を活用して家庭学習の促進に努める。 ○帰りの会で「家庭学習の手引き」の中から、その日にできそうな学習内容を個々に選択させ、自分に合った学習を生徒が自ら選択していけるように促す。 ○放課後学習で、1人で学習に取り組む習慣が身に付けられるように支援する。		
⑥生徒の80%以上が朝読書に進んで取り組んでいる。		A
【改善策】 ○落ち着いて読書に取り組む習慣がつくように声かけをしていく。 ○生徒の興味がある本を購入できるように、生徒から購入希望を募る。		
⑦「相手の立場や気持ちを考えた思いやりのある言動を心がけている」と生徒の80%以上が答えている。		A
⑧「学校は悩みやいじめの解消に努めている」と生徒の80%以上が答えている。 ⑨「いじめをしない、させない、許さない」と生徒の90%以上が答えている。		
【改善策】 ○継続して生活記録や生活調査などを活用し、生徒の日常観察を充実していく。また、気になる点がある場合には、迅速に学年を軸に対処し、全職員に情報共有していく。 ○生徒自身が「いじめを許さない」という態度や考えをもてるよう、生徒会によるいじめ防止活動を推進していく。 ○各クラスのいじめ防止スローガンに学級活動や道徳など折に触れ、生徒への意識付けを行っていく。		

⑩生徒の80%以上が、挨拶・返事等適切な言動ができる。 【改善策】 ○気持ちの良い挨拶について、日常的に生徒に指導していく。 ○教室に「学習のきまり」を掲示し、授業中の挨拶、返事、発表の仕方などの指導の充実を図る。 ○朝の会や帰りの会、下校時などに服装や髪型についてチェックし職員が同一歩調で指導する。	A
⑪部活動を通して、心身の望ましい成長や人間関係づくりに効果がもたらされていると 生徒や保護者の80%が答えている。 【改善策】 ○部活動の意義を踏まえた指導を継続し、所属している部活の中で一人一人の生徒の活動や活躍を認め、自己有用感や達成感を感じられるように指導していく。	A
⑫生徒の80%以上が家で手伝いをしている。 【改善策】 ○長期休業中の事前指導やお便りで、家庭における役割分担の大切さについて指導する。 ○道徳の授業で、福祉や奉仕、家族愛について扱うことで、自分ができることについて考えたり実践したりする意欲がもてるように支援する。	B
⑬生徒の80%以上が、ボランティア活動や福祉活動に積極的に取り組んでいる。 【改善策】 ○来年度に向けて生徒会や各専門委員会で、ボランティア活動を計画する。 ○道徳や学活の授業で、社会参画の意義や思いやりについて随時触れることで、集団の中で自分達ができることを考え実践できるような気持ちの育成に取り組む。	A
⑭生徒の80%以上が清掃活動に真面目に取り組んでいる。 【改善策】 ○清掃の時間には、担当職員が必ず行き、生徒と一緒に清掃をしたり声をかけたりする。 ○整美委員会を中心に、清掃に自主的に取り組んでいくような活動を支援していく。	A
⑮生徒の90%以上が朝食をとっている。 【改善策】 ○引き続き、食に関する指導の推進をしていく。家庭科の授業や学校保健委員会等を活用し、家庭と連携していく。	A
⑯生徒の85%以上が給食後の菌磨きをしている。 【改善策】 ○感染予防に留意しながら給食後の菌磨きや、持ち帰りの菌磨きテストを実施する。	A
⑰生徒の80%以上が進んで体力づくりに取り組んでいる。 【改善策】 ○体力向上プランを基に、引き続き教科や部活動、体育的行事への参加意識の向上を目指す。	A
⑱1日6～9時間の睡眠時間を生徒の80%以上がとっている。 【改善策】 ○家庭と連携し、睡眠の大切さについて指導していく。必要に応じて個別指導を実施していく。	A
⑲学校は、施設・設備の安全や生徒の危機意識や自己防衛能力の育成に努めていると、保護者や生徒の80%以上が答えている。 【改善策】 ○引き続き危機管理マニュアルの見直しや改訂を進めていく。 ○避難訓練の内容を工夫したり、移動を主とした短時間の避難訓練などを企画し、生徒の危機回避能力を高められるように事前事後指導も含め全校体制で指導を徹底していく。	A
⑳学校は、通学路の危険箇所の確認や生徒の交通事故防止、不審者への対策等に努めていると、保護者や生徒の80%以上が答えている。 【改善策】 ○普段から校舎内外での安全指導について生徒に声をかけていく。 ○関係機関と連携し、不審者情報や熊情報などについて、Home&School等を活用し保護者や生徒への情報提供を迅速に行っていく。 ○通学路の危険箇所について、保護者や生徒から聞き取ったり、安全マップの作成を定例化し蓄積していくことで全職員及び生徒で共通理解を図る。	A
㉑学級活動における進路学習や総合的な学習の時間の体験活動等を通して、生徒の80%以上が自己の生き方について考えている。 【改善策】 ○学年便りや学年懇談会などを通して、高校入試に関する情報を保護者や生徒に周知できるようにする。 ○入学試験までのロードマップを提供することで、保護者や生徒が見通しをもって卒業後の進路について考えられるようにする。	B
㉒将来の進路などについて生徒の80%以上が親子で話し合う機会をもっている。 【改善策】 ○進路学習会、職業講話で学んだことを今後の進路選択に活かせるように、資料を適切に保管させたり感じたことや印象に残ったことを記録させたりする。 ○三者面談前に、親子で話し合いながら記述する進路についてのアンケート調査を実施し、家庭で将来の職業や卒業後の進路について話し合う機会をもてるようにする。 ○キャリアパスポートで考えた内容を交流する時間を設け、多様な考え方に触れさせる。	B

※生徒の学校生活をより充実させるため2学期もアンケートを実施しますので、よろしくお願い致します。